

# 大阪府市場だより

第299号

(平成29年1月25日)

発行

大阪府中央卸売市場協会  
茨木市宮島1-1-1  
TEL (072) 636-3698  
FAX (072) 636-3699  
MAIL: 36983699@  
iaa.itkeeper.ne.jp



絵：「マグロ」磯野 由美（磯丸運送）

平成29年を迎えるにあたり、1月5日の午前9時から、大阪府中央卸売市場協会（理事長・三輪光幸（うおいち社長））が主催する年賀交歓会が管理棟7階大会議室で開催された。来賓として、石川晴久（大阪府環境農林水産部長）はじめ、茨木市長の福岡洋氏、衆議院議員の足立康史氏、府議会議員の松本利明氏、うらべ走馬氏、中野剛氏のほか、市場関係企業役員や団体役員ら約100人が出席した。

最初に、府市場協会の三輪理事長が挨拶し、歩みを予測できない厳しい環境の中で、着実な歩みを求められていると指摘されたのち、「府



ご来賓の皆様

最新に、府市場協会の三輪理事長が挨拶し、歩みを予測できない厳しい環境の中で、着実な歩みを予測されていると指摘されたのち、「府



理事長 三輪

取り組んでおり、大阪

市場では、来年度から新経営展望策定に取り組んでおり、大阪府と我々市場関係者が「丸」となって、流通構造の変化に対応し、産地や小売、消費者の支

持を勝ち取るべく、競争力のある市場」の実現に努めてまいりたい

来年度からの指定管理者が府市場管理センター株式会社に決定している。この5年間、山口社長のもと、ハード面はもとより、ソフト面での市場活性化事業に果敢に取り組んでいただき、多大の成果を納めさせていただいている。今後とも、競争力ある府市場を実現するために、ご活躍をお願いし、また、大いに期待申し上げる」（平成29年につきましても、関係各位の皆様方のご協力をいただきながら、大阪府の指導の下、茨木市長さん、府会議員国会議員の先生の支援を得て、府市場のなお一層の発展に取り組み、買出し人の皆さまの期待に応える大阪府市場にしていく所存）と述べられた。

続いて、石川・大阪府環境

農林水産部長が知事祝辞を代読され

た。その中で、「来年

度からの『経営展望』で食品流通の変化に機動的に対応

する経営戦略を、市場関係者の皆様と

策定してまいりたい」と述べられた。

これまでの成果を土台に、場内外を問わず関係者の皆様と「丸」となって、集荷力・販売力の向上を目指し、市場の活性化に努めています

ただくことを期待」「今後とも、府市場が理運営が始まる。この

現に向かつて、皆様方とともに取り組んでまいりますので、一層のご理解ご協力をお願いする」と述べられた。

次いで、来賓代表の祝辞があり、福岡茨木市長は、「茨木市に大阪の台所を支える市場が存在していることを誇りに思う

「市場の皆さんいろいろな事業に対しても、支えしてまいりたい」と述べられ、足立衆議院議員は、万博やI-Rを例にあげられ、

「国会議員の立場からは市場を盛り上げていくためにも、大阪全体が関西全体が

もつともっと盛り上がりしていくように頑張っている」と述べられた。

新春を祝い、府市場の発展と出席者のご健勝を祈念して、山口秀雄（府市場協会副理事長）で府市場管理センター（株）

社長の发声で、声高らかに乾杯が行われ、歓談となつた。

和やかな雰囲気の中での交歓の後、中締めとして、中村大介（府中央卸売市場長）の音頭により万歳三唱を全員が力強く唱和した。

## 年賀交歓会を開催 府市場協会



主催者の皆様



ご来賓の皆様

新年あけましておめでとうございます。中央卸売市場関係者の皆様におかれましては、平成29年の新しい年の幕開けを健やかにお迎えになつたことと存じます。また、日頃から、府民への生鮮食料品の安定供給にご尽力いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、大阪経済は、大阪を訪れた外国人の方が過去最高を4年連続更新するなど、観光面をはじめ、明るい兆しが見えてきました。この流れを本格的なものとし、府内のすみずみ

まで景気回復を行きわらせ、府民の皆様が豊かさを実感でござります。中大卸売市場関係者の皆様におかれましては、平成29年の新しい年の幕開けを健やかにお迎えになつたことと存じます。また、日頃から、府民への生鮮食料品の安定供給にご尽力いただき、厚くお礼申し上げます。

これまでの成果を土台に、民間、市町村はじめ関係機関と連携しつつ、具体的な取組みを本格化する年にしたいと思います。食品流通を取り巻く状況につきましては、人口の減少や、国内における生産・流通構造の変化、消費者ニーズの多様化等により、大きく変化しております。

今後とも、大阪府中央卸売市



## 新年のご挨拶

大阪府知事 松井 一郎

皆さん、明けましておめでとうございます。

本日は、大変お忙しい中、ご来賓の皆様をはじめ多数のご参加を賜り、年賀交歓会を開催できることを、心よりお喜び申し上げる次第でございます。

昨年は、リオ五輪で史上最多のメダルを獲得するといった明るい話題がございましたが、地震あるいは異常気象などによって深刻な災害が多く発生しておりま

す。世界を見ても、テロ事件の頻発や大方の予想に反したアメリカの大統領選挙結果などにみられるように、将来を予測できない厳しい環境になつております。

このようなかで、当市場においては、来年度からの新経営展望を策定するため、大阪府と我々市場関係者が協力して取り組んでい

るところをございまして、開設者と場内関係者が一丸となつて流通構造の変化に対応し、産地や小売、そして消費者の支持を勝ち取



## 新年のご挨拶

大阪府中央卸売市場協会理事長 三輪 光幸

るべく、「競争力のある市場の実現」に努めてまいりたいとかよう考へております。

また、来年度からの指定管理者が府市場管理センター株式会社に決定しております。この5年間、府市場管理センター株式会社は、山口社長の下、ハード面はもとより、ソフト面での市場活性化事業に果敢に取り組んでいただき、多大の成果を収めていただけております。今後とも、競争力のある府市場を実現するために、ご活躍をお願いし、また大いに期待申

て魚食のPRを行い、最終週には「市場まつり」が大きな関心を呼んだところでございます。

また、11月に開催した市場開放デーでは、これまでにもまして多数の来場者があり、府市場に寄せる府民の関心の高さ、また期待の大きさといったものを感じたところでござります。

札申し上げます。

平成29年につきましても、関係各位の皆様方のご協力をいたさながら、大阪府のご指導のもと、茨木市長さん、府会議員、国会議員の先生の支援を得て、府市場のなお一層の発展に取り組み、買出入の皆様の期待にこたえる大阪府市場に

上げる次第でございます。昨年を振り返りますと、府市場では、9月に、大阪新阪急ホテルとの共同企画を開催され、シェフの創作料理が話題になりました。10月には、阪神梅田本店で1か月にわたって、産地や大学と連携して魚食のPRを行い、最終週には「市場まつり」が大きな関心を呼んだところでございます。

また、来年度から指定管理者が府市場管理センター株式会社に決定しております。この5年間、府市場管理センター株式会社は、山口社長の下、ハード面はもとより、ソフト面での市場活性化事業に果敢に取り組んでいただき、多大の成果を収めていただけております。今後とも、競争力のある府市場を実現するために、ご活躍をお願いし、また大いに期待申



として、安全・安心な供給はもちろのこと、産地・消費者双方から選ばれる「競争力のある市場」の実現に向かって、皆様方とともに取り組んでまいりますので、より一層のご理解・ご協力をお願いいたします。

最後に、本年が皆様にとって実りある素晴らしい年となりますようお祈り申し上げます。関係の皆様方に厚くお礼申し上げます。

## 年賀交歓会より



ご祝辞

足立衆議院議員



ご祝辞

福岡茨木市長



ご祝辞

石川大阪府環境農林水産部長

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、平成29年の幕開けを健やかにお迎えのことと存じます。また、平素は大阪府中央卸売市場の運営につきまして、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、卸売市場を取り巻く情勢は、少子高齢化や人口減少による食料消費の量的変化、消費者ニーズの多様化、農林水産物の国内生産・

新年にあたり一言ご挨拶と抱負を申し上げます。

まず、管理センターは3月末で1期の5年を終えますが、この間、開設者はじめ場内関係者のご指導とご協力のもと予想以上の成果を上げることができました。

責任者として関係各位に心より感謝申し上げますとともに、今後とも社員が社業に対する理解をもつて職務を果たし、各人がより一層成長するよう期待するところであります。



## 新年のご挨拶

大阪府中央卸売市場協会  
常駐代表者会議議長  
大阪府中央卸売市場管理センター株式会社取締役  
山口 秀雄

管理センターの成果の第一は何といつても利用料金の未収金「ゼロ」であります。が、このような状況は他のいかなる公共団体関係の施設でも見受けられません。

また、市場関係者のニーズを踏まえ、スピード感をもって効率的で小回りの利く業務運営を行い、素早く課題を片付け次第に取り組む姿勢は民間会社そのものです。

厳しい状況となつております。しかしながら、产地や実需者のニーズに的確に応え、安全・安心な生鮮食料品等の円滑な流通機能を担う卸売市場の社会的役割は大きく変わらないものと考えております。

昨年1月に公表された、農林水産省の第10次卸売市場整備基本方針では、卸売市場が生鮮食料品等の流通における基幹的インフラとして、川上・川下をつなぐ架け橋として求められる機能を高度化するため、市場毎の立地条件や取引等を踏まえ

新年度末で計画期間が終了するため、平成29年度から5年間の方向性を定めた新たな

経営展望の策定を進めております。市場流通を取り巻く状況や、当市場のこれまでの取組み等を踏まえ、課題解決に向けた今後の方針を明確化するとともに、国の基本方針にも示されている経営戦略的な視点を持った基本戦略及び行動計画を盛り込むこととしております。

また、当市場では、平成24年4月から全国の中央卸売市場で初めて指定管理者制度を導入し、コスト削減や収入確保により生み出した資金を施設の修繕などに投資するとともに、ホテルや大学との連携事業を行なうなど、積極的に活性化に取り組んでま



## 新年のご挨拶

大阪府中央卸売市場長 中村 大介

創意工夫を發揮する経営戦略の確立が層求められております。

具体的には、開設者、指定管理者、場内関係者等の役割分担を定め、荷捌きの効率化、コールドチェーン化の推進、トップセールス等による川上・川下との連携強化を実施すること、「競争力のある市場」の実現を目指してまいります。策定にあたっては、当市場関係事業者等で構成される「大阪府中央卸売市場活性化協議会」における意見交換も踏まえ、今年度中に取りまとめる予定しております。

平成29年4月からは、第2期目の指定管理期間となりますが、これまで以上に連携を深め、場内関係者の皆様と丸となり、さらなる活性化を図つていただきたいと考えております。

本年も市場関係者とともに、安全・安心な生鮮食料品を府民の皆様へ安定供給する流通拠点としての役割を果たせるよう、一層努力してまいりたいと存じますので、ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

結びに、本年が市場関係者の皆様方にとりまして、より良い年となりますよう祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



万歳のご発声  
中村府市場長



乾杯のご発声  
山口府市場管理センター株社長

### （年賀交歓会より）



# 新年特集 常駐代表者の皆さんからの新年のご挨拶（要旨）



## 安全安心が市場の責務

**大阪北部中央青果(株) 代表取締役社長 三木 博司**

昨年はリオオリンピックにおいて、日本選手が期待以上に活躍し日本中が歓喜しました。このようないい話題も数々あったの

ですが、熊本で地震が発生しました。被災された方々には、心よりお見舞いを申し上げます。

我々青果業界では、東京都の

## 情報の収集力・発信力を強化

**大果大阪青果(株) 専務取締役北部支社長 堀ノ内 重治**

が困惑している状況を垣間見て、管理センターの食の安全安心への取り組みに深く感謝をしているところでございます。

昨年は、国内外で「まさか」の年ではなかつたのでは、イギリスのEU離脱、又年末には次期アメリカ大統領にトランプ氏が当選。国内では、東

京都舛添知事の辞任、小池知事誕生により豊洲市場の安全性問題が発覚し築地市場からの移転延期となり、我々の同業者である各関係者

## 変化に対応



**(株)うおいち  
常務執行役員北部支社長 小笠原 元功**

が困惑している状況を垣間見て、管理センターの食の安全安心への取り組みに深く感謝をしているところでございます。

昨年11月には、アメリカ大統領選挙が行われトランプ新大統領が1月20日に就任されます。

当選の瞬間から為替の乱高下が続き就任早々TPPからも離脱と言われています。日本に於いても計り知れない影

受け、今後青果業界及び流通関係に大きな影響が及ぶのではないかと危惧しているところであります。今後とも、青果卸売組合の皆様方と共に、市場流通・北部市場の価値を高める

毎年言わでいますが異常気象、青果物生産量は減少傾向にあり、弊社として情報の収集力・発信力の強化に努め時代の変化に柔軟に対応できる組織作りを行う所存であります。又北部市場の発展に寄与できるよう努めてまいります。

昨年来、円安基調が続き輸入品のコストアップとなり販売に於いて大変厳しい状況が本年も続くと予想致します。

さて北部市場に於いて指定管理者の任期も29年3月末で終了し、新たに29年4月より5年間次期指定管理者「大阪府中央卸売市場管理センター(株)」が選定されました。多くの競合他社の中から選ばれたのは過去5年間の実績によるものだと思います。理事長、理事、各団体の市場活性化への注力が認められ

能の必要性が小さくなつておらず、種々のタイプが存在する物流拠点の「一つとなつて」現状を分析しました。同時に、「自由かつ最適に業務を行えるように、卸売市場法という特徴を廃止する」と施策の具体化の方向を示しました。既成概念にとらわれない自由な取引が出来るようになつて

おり、種々のタイプが存在する物流拠点の「一つとなつて」現状を分析しました。同時に、「自由かつ最適に業務を行えるように、卸売市場法という特徴を廃止する」と施策の具体化の方向を示しました。既成概念にとらわれない自由な取引が出来るようになつて



水産3者による年賀交歓会  
板東支社長のご挨拶

**活気溢れる初市・  
水産年賀交歓会！**

府市場では、平成29年新春の初市が5日早朝に行われた。4時15分からのマグロの初せりから始まつて、4時40分には水産卸の「うおいち・大水と水産物卸協同組合の3者による年賀交歓会、5時10分には魚類、ちりめんのせり、5時40分には果実のせり」と続いた。

初市の取扱量は、水産が前年比12.67%、青果が前年比9.22%であった。せり場には、新年のあいさつを交わした買い手の皆さんのが、せり人の掛け声に応え、熱気に満っていた。

も、中央卸売市場は生産者と消費者を結ぶ生鮮食料品の流通の要として、安全安心が生果物流通では、相次ぐ気象変動により青果物全般の安定的な生産・供給がなされず価格が二年連続して上昇する年となりました。又、政府の規制改革推進会議は農業改革の一環として卸売市場については、「食糧不足時代の公平分配機

り、種々のタイプが存在する物の必要性が小さくなつておらず、種々のタイプが存在する物流拠点の「一つとなつて」現状を分析しました。同時に、「自由かつ最適に業務を行えるように、卸売市場法という特徴を廃止する」と施策の具体化の方向を示しました。既成概念にとらわれない自由な取引が出来るようになつて

おり、種々のタイプが存在する物流拠点の「一つとなつて」現状を分析しました。同時に、「自由かつ最適に業務を行えるように、卸売市場法という特徴を廃止する」と施策の具体化の方向を示しました。既成概念にとらわれない自由な取引が出来るようになつて

おり、種々のタイプが存在する物流拠点の「一つとなつて」現状を分析しました。同時に、「自由かつ最適に業務を行えるように、卸売市場法という特徴を廃止する」と施策の具体化の方向を示しました。既成概念にとらわれない自由な取引が出来るようになつて

(株) 大水  
執行役員 北部支社長  
板東 啓二

昨年は、温暖化に伴う異常気象・近海魚の不漁による浜高に加え円安に伴う輸入商品のコスト高騰により中央市場を取り巻く取引環境

は厳しい状況下で年を越しました。しかしながら北部市場においては、指定管理者制度の導入により市場運営と各施設において

度までの5か年の新経営展望作成の年にあたり節目の年になります。

修理・改修が行われ、市場関係者にとって利用しやすい環境が作られています。また、市場外取引関係者に対しても食品の安全安心を大きくアピールできる環境が整ってきております。本年は、2期目の指定管理者制度の初年度・平成29年度から33年

度までにかけて、新規開拓や既存の拠点強化、新規開拓などに取り組んで参ります。今年も気を緩めることなく常に荷・供給に努め北部市場の発展に取り組んで参ります。

大阪府青果卸売協同組合  
理事長 東野 達雄

政府は、昨年11月開催の第20回農林水産業・地域の活力創造本部において「農業競争力強化プログラム」を正式に決定し、卸売市場については「経済社会情勢の変化を踏まえて、卸売市場法を抜本的に見直し、合理的な理由のない規制は廃止」、卸売市場関係業者など中間流通は「抜本的な合理化を推進すること」とし、事業者が業種転換等を行う場合は「国が融資等

により支援を行うと明記しています。しかしながら、農林水産省は、「今後、卸売市場関係業界の皆さんからこの指摘なども受けつつ『卸売市場法』の抜本的な見直し』を進めてまいります。」と有りますので全青卸連と連携をしながら「仲卸業にとって問題ある規制等の見直し」を指摘した私共青果卸売市場を取り巻く環境

は、少子高齢化や食生活の多様化、近年常化した異常気象の影響による農作物の被害、卸売市場経由の減少など、これまで以上に厳しい経営状況を余儀なくされることになります。

私共の消費税対策として生活必需品の税率を低く抑えるため「生鮮食料品の軽減税率の適用」と消費税額の表示を「恒久的に外税方式に統一」することについて引き続き取り組む所存であります。

卸売市場流通の再構築にも課題があり「多様化するニーズへの的確な対応・事業者の経営体質の強化」などについて、全青卸連と連携協力しながら体となって特徴を活かした市場の活性化を推進する所存であります。

工事を迅速に行い、大規模な修繕・改修は開設者が行うという役割分担のもと整備を進めています。市場関係者が連携協力しながら体となって指定管理者制度の特徴を活かした市場の活性化を推進する所存であります。

本年も市場関係者とともに安全・安心な生鮮食料品の安定供給のため

マグロの初セリ。  
鮮魚の初セリ大阪府水産物卸協同組合  
理事長 山口 秀雄

文面では表しにくいのですが、大阪三市場のこれからを考える時期に来ているのではないかと私自身思っています。

人件費・施設使用料の削減を行でき、強い卸を再現していただきたいたい。

てくれました。

その人達はこれから頑張るぞと

いう、我々が昭和53年に開場、入场してきた時の気持ちを思い出させてくれる様な熱い心を感じ大変期

待しております。

水産組合は昨年一年その業績売上げの増大を第一として運営して参りましたが、その成果はなかなか難しいように思います。只、若い人の独立が6軒ほどありまして、空き店舗対策に貢献し

は厳しい状況下で年を越しました。しかしながら北部市場においては、指定管理者制度の導入により市場運営と各施設において

度までの5か年の新経営展望作成の年にあたり節目の年になります。

修理・改修が行われ、市場関係者にとって利用しやすい環境が作られております。

そこで市場再編統合により、

新組合員と強い卸に期待

大阪三市場のこれからを考える時期に来ているのではないかと私自身思っています。

人件費・施設使用料の削減を行でき、強い卸を再現していただきたいたい。

「卸が強くなれば市場の発展・活性性はありません」又、仲卸

もそれにより大きく元気を取り戻すと考へておるからです。

新しい年に新しい発想でスタートしたいのです。

そしてこの様な対話が出来るのは会社に触れて申し訳ありません。

ような機会を期待しています。

## 卸売業者取扱高（平成28年12月） 大阪府中央卸売市場

| 卸売業種名   | 種類    | 数量(トン) | 前年比%  | 金額(千円)    | 前年比%  |
|---------|-------|--------|-------|-----------|-------|
| 青 果     | 野 菜   | 11,581 | 90.9  | 2,750,871 | 112.2 |
|         | 果 実   | 5,579  | 92.8  | 1,959,325 | 95.0  |
|         | 小 計   | 17,161 | 91.5  | 4,710,197 | 104.3 |
| 水 産 物   | 生鮮水産物 | 2,062  | 90.2  | 2,226,678 | 92.2  |
|         | 冷凍水産物 | 505    | 100.5 | 738,864   | 97.8  |
|         | 加工水産物 | 1,269  | 89.7  | 1,458,550 | 92.2  |
|         | 冷凍食品  | 458    | 104.1 | 233,112   | 94.3  |
|         | 小 計   | 4,294  | 92.5  | 4,657,206 | 93.2  |
| 卸 売 業 者 | 計     | 21,455 | 91.7  | 9,367,402 | 98.5  |

開場日数 平成28年・27年 25日

## ＜初入荷量＞

|      | 28年   | 29年   |        |
|------|-------|-------|--------|
|      | 数量(t) | 数量(t) | 前年比    |
| 野菜   | 661   | 617   | 93.4%  |
| 果実   | 151   | 131   | 86.7%  |
| 青果合計 | 812   | 748   | 92.2%  |
| 生鮮   | 117   | 105   | 89.6%  |
| 冷凍   | 10    | 14    | 142.1% |
| 加工   | 73    | 134   | 184.6% |
| 水産合計 | 200   | 253   | 126.7% |





(株) 北部冷蔵サービスセンター  
代表取締役社長

巽 計廣

## 経営改善3年目の活動強化

昨年は、リオデジヤネイロオリンピック、パラリンピックが開催され日本選手の活躍により空前のメダルラッシュとなり日本中が湧き上がりました、また大隅氏がノーベル賞を受賞されたなど明るい話題も

ありましたが、イギリスのEU離脱、アメリカの次期大統領にトランプ氏が選ばれるなど大方の予想を覆すことが起きており先行きの不透明さが増しております。

そのような中、当社は経営改善

黒字化を見込んでおります。ただ、売上げについては輸入魚介類の高値による売れ行き不振、荷主様の在庫を減らして経費を抑える動きに変わりはなく、じり貧傾向に歯止めはかかるでないようと思われます。また人件費の

さて、当中央卸売市場に隣接します当社には、加工食品卸売団地の活性化を図りながら市場とともに競争力のある総合食品供給基地を目指すという使命がござります。

当社は、昨年、加工食品卸売団地のリニューアルに、積極的に取り組みでまいりました。昨年に、大阪国に先駆けて指定管理者制度導入し、市場運営の機動性や効率性を高めて来られるなど、全国の市場経営の模範として、この五年間で、大きな成果をあげられています。

## 加工食品卸売団地の活性化に向けて

(株) 大阪府食品流通センター  
代表取締役常務 田中 英治

卸売市場を取り巻く経営環境には、依然として厳しい状況がござります。ご案内のとおり、生産者と小売業者との直接取引が増加することで、市場経由の流通量には減少傾向が続いていますが、国民の食生活の変化が、生鮮品の流通量の減

少し拍車をかけております。しかしながら、当中央卸売市場では、全国に先駆けて指定管理者制度導入し、市場運営の機動性や効率性を高めて来られるなど、全国の市場経営の模範として、この五年間で、大きな成果をあげられています。

さて、当中央卸売市場に隣接します当社には、加工食品卸売団地の活性化を図りながら市場とともに競争力のある総合食品供給基地を目指すという使命がござります。

当社は、昨年、加工食品卸売団地のリニューアルに、積極的に取り組みでまいりました。昨年に、大阪府から株式を譲り受けましたところの約束ごとでもあったのですが、お客様の安全性、利便性、快適性を向上し、集客力アップを図るために、昭和53年の開業以来初めての

大規模な改修工事(店舗間の通路改修、来客用トイレの改修などを実施しました)。当社では、入店者の皆さまとともに、毎月の最終土曜日の「こだわり市」や年末の「大感謝セール」の開催などを通じまして、売場の活性化に努めてきております。リニューアルしました加工食品卸売団地も、(こだわり食材市場)に、この機会に是非お越しくださいますよう、皆様方のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

衛 檢  
だより

## 商売繁盛で 笹もつてこい！

食品衛生検査所

一月十二日、茨木恵美須講の「宝恵かご」場内巡行がありました。 笹は古来からその青々した葉の色やまっすぐに伸びると、これから生命力あふれる縁起物として様々な神事に使われてきました。

また、抗菌作用を持つとされ、鱈のすしやちまきなど保存食にも使われています。近年の性質に着目し、自然由來の抗菌抗ウイルス剤としての検討も行われています。

「マウテ君」  
大阪府インフルエンザ対策マスクottキャラクター

昨年末、府内の感染性胃腸炎が10年ぶりに警報レベルを超えて本紙でも餅つきなど手指を介しての感染に注意を呼びかけました。年明けとともに、今度はインフルエンザの報告数が気に増えています。一週間で37%も増加しすでに2か所の地域で注意報レベルを超えた。

去年末、府内の感染性胃腸炎が10年ぶりに警報レベルを超えて本紙でも餅つきなど手指を介しての感染に注意を呼びかけました。年明けとともに、今度はインフルエンザの報告数が気に増えています。一週間で37%も増加しすでに2か所の地域で注意報レベルを超えた。

木恵美須講の「宝恵かご」行25名が、高らかに打ち鳴らされる太鼓に合わせ、「商売繁盛で 笹もつてこい」の威勢の良い声を響かせながら巡行。福娘から奉納者に福笹が手渡され、今年一年の「招福来幸・商売繁盛」を祈念して三本締めを行った。

## 人事異動

(敬称略、1月1日付け。(内は前職)

○(株) 大阪府食品流通センター ▷ 転入：総務課課長(泉北高速鉄道株) 辻村大介 ▷ 配転：業務課主幹(総務課主幹兼業務課主幹) 大門正裕

## 「宝恵かご」が来場！



茨木神社・恵美須社奉納・祈願

大阪府中央卸売市場協会、府青果卸協同組合(東野達雄理事長)、府水産物卸協同組合(北鮑会(山口達也会長))は、

1月7日に、地元

茨木神社・恵美須社へ商売繁盛・招福を願って青果物と「招福大まぐろ」を奉納した。午前8時に、法被姿の皆さん17人が、奉納品を拝殿に運び込み、神主のお祓いを受けた。奉納の品は、特大の冷凍メバチマグロ(120キロ)、旬の白菜・りんごみかんなど計25ケース。マグロの頭や腹にさい錢が見事貼り付けば、その年は「錢が身につく」との縁起があり、お客様の安全性、利便性、快適性向上し、集客力アップを図るために、昭和53年の開業以来初めての大勢の参拝者の人気を集めている。

